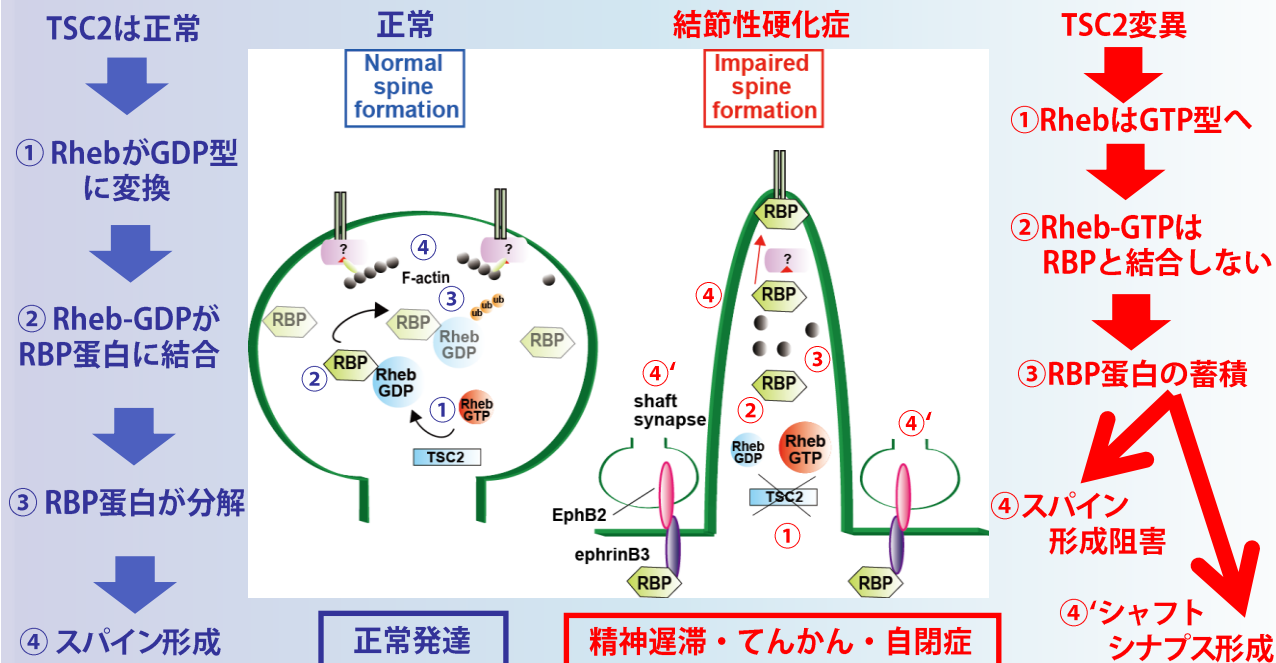


自閉症・難治性てんかんなどの発達障害の創薬ターゲット

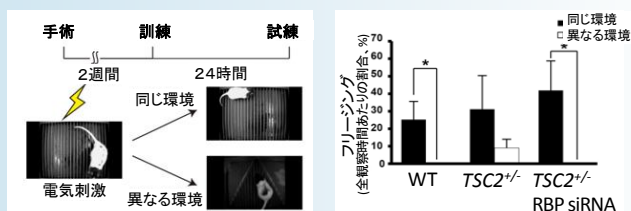
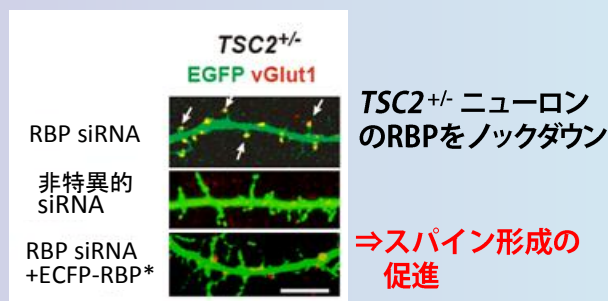
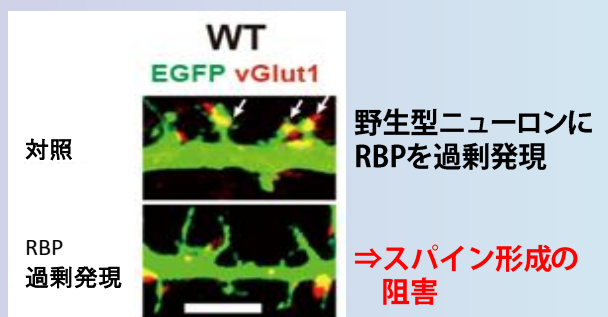
1. 概要

結節性硬化症モデルラット ($TSC2^{+/-}$) において、樹状突起スパイン形成に關与する標的タンパクを見出した。 $TSC2^{+/-}$ ラットにsiRNAを投与したところ、スパイン形成異常の回復、文脈依存的な弁別学習の改善、薬物投与によるてんかん原性獲得の抑制を確認した。

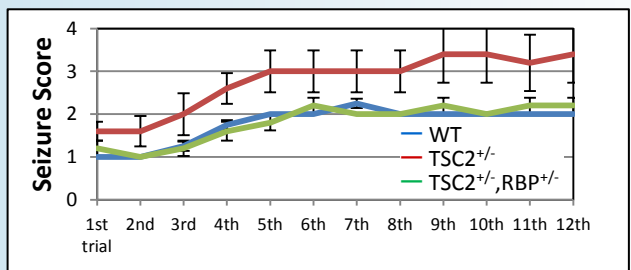
2. スパイン形成障害のメカニズム



3. 実験結果



RBPsiRNAを $TSC2^{+/-}$ ラット側脳室へ持続注入 ⇒ 文脈依存的恐怖弁別行動の異常を正常化



薬物投与によるてんかん原性の獲得を抑制



Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

公益財団法人 東京都医学総合研究所 知的財産活用センター 担当 長壁
<http://www.igakuken.or.jp/tlo/> e-mail:chizai@igakuken.or.jp